

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

6年5月13日

米子市議会議長 様

（会派の場合）

会派名

代表者氏名 (印)

提出者氏名 (印)

（議員の場合）

議員名 森田悟史



下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 研修会への参加	☐ 行政視察 ☐ 会議への参加	☐ 要請・陳情活動
参加者	森田悟史		
期 日	2024年5月7日から 2024年5月9日まで		
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 岩手県紫波郡紫波町と盛岡市で開催された20代議員の会の視察研修に参加した。（一部オンラインによる参加）公民連携や共生社会についてなど座学や施設の視察を行なった。			
〔所 感〕 ※別紙参照			
経 費	旅 費 @107,010 円× 1 人= 107,010 円 その他 @ 円× 人= 円 合 計 円		

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

①オガールプロジェクト

オガールプロジェクトは第三セクターのような行政の出資を伴う法人の設立を含む公民連携で動いているプロジェクトであり、住民の要望などが取り入れられた図書館の新設などにも寄与しています。元々は町の公社が持っていた広大な土地の開発が、資金不足によって凍結されていたところからスタートしていますが、MINTO機構による「まち再生出資」や民間企業からの出資など、行政の資金以外の部分で資金調達を行うことで、全体予算を増やし、民間主導で取り組んでいるプロジェクトです。オガールのエリア内には様々な施設が立地しており、今後の都市開発に向けては非常に参考になる部分が多くありました。例えば、宿泊施設や図書館、役場はもちろんのこと、バレーボール専用アリーナ、フットボールセンター、エコ住宅の分譲地オガールタウンや飲食店等のテナントがあります。テナントには飲食店やクリニックなどが入居しており、その賃料が会社に入り、地代が町の歳入に入るといような仕組みです（オガールタウンについては分譲地なので町有財産を買い取ってもらう形）。町の投資を地代や地価の上昇による固定資産税の増収などで回収できる仕組みで、地価の上昇もみられるため、ある程度の成果が現時点では出ているものと考えます。エリア全体の魅力が高まり価値が高まることで、町に還元されている点は非常に参考になりました。最も重要なポイントはパブリックマインドを持った民間事業者がいるかどうかであると感じています。米子市に当てはめてみた際にもその部分が大きなポイントであることは間違いなく、課題感としては地権者が多い場合にはスピード感を持って進めることができないため、米子市の中心市街地等での開発の際には難しい点が多いと感じました。民間主導を公共が支援する構図を米子市でも作り、行政依存を低減させることで持続可能なまちづくりにつながると感じました。

②若者と産学官の連携プロジェクト

岩手県リカレント教育推進事業コーディネーターの高橋さんと若者政策や教育についての意見交換などを行いました。主には教育分野についての意見交換が多くありましたが、公教育の限界から地域での学びをどのように促進していくかを重要視されており、起業家精神の育成と教育の結びつきや、そもそも答えを教えすぎるのは良くないということなど、共感できる部分も多くありました。まずは公教育ももちろんのこと、社会人として働いている人なども含んだ「人への投資」が優先度が高い事項であると私も考えている一方で、そのコストを誰が払うのかという疑問がついて回っており、人手不足の問題とも相まって、売り手市場と言われる働き手からすれば、個人として成長することのインセンティブが弱まっていくのではないかと懸念も感じています。主体性を育む学びを促進することで、課題解決思考の醸成とそれによる地域課題や社会課題の解決に向けては、産学官が連携しながら社会人へのリカレント教育を促進することなどは効果があるように感じました。また、移住を前提に関係人口を考えてきた

部分がありますが、結局は人口減少の中でのパイの奪い合いでしかない側面も強く、新しい関係人口のカたちへの昇華が必要であることも再認識できました。

③共生社会について

当初は移動の都合上参加できない予定でしたが、無理を言ってオンラインでの参加環境を整えていただき、新幹線の移動中に参加させていただくことができました。講師としては、ヘラルボニーの木村様よりお話を聞かせていただきました。ヘラルボニーは「異彩を放て」をミッションに活動されており、「福祉×アート×ビジネス」で世界へ挑戦している企業です。作業所などの収入についての問題意識を持っておられることもあり、それぞれの表現をアートに昇華させることで、障害のある作家の方に報酬を還元していく仕組みだそうで、年間で数百万円の報酬を受け取る方もいるそうです。医療的ケア児でも活動が可能か質問をさせていただいたところ、音が出せればそれを音楽に乗せて表現することで作家活動ができるのではないかと答えていただき、新たな可能性を感じることができました。また、丸の内で開催されたファッションウィークでダウン症の方が出て行って、障害のある方でもランウェイを歩いているなど、障害の有無で区切りをつけないことの重要性についても再確認することができ、民間サイドからの社会へのアプローチも非常に重要であると感じました。

行政視察行程

月 日	行 程	宿 泊 先	
5 / 7 (火)	7:50 8:55 10:15 11:09 11:28 11:38 11:42 米子空港=====羽田空港=====浜松町駅=====東京駅 (昼食) ANA384 便 東京モノレール空港快速 (浜松町行) JR 京浜東北・根岸線快速 (大宮行)	【ホテル】 OGAL INN 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前 二丁目3番地12 (紫波中央駅から徒歩2分) ☎019-681-1256	
	12:36 15:32 15:40 16:08 16:10 16:12 東京駅=====北上駅=====紫波中央駅=====ホテル JR 新幹線やまびこ 61 号 (盛岡行) JR 東北本線 (盛岡行) (徒歩2分)		
5 / 8 (水)	研修①「紫波町の公民連携について」(オガールプロジェクトについて座学を行う) 時間 9:30~12:00 場所 オガール：宿泊ホテル同一施設内 (岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地12)		【ホテル】 HOTEL MAZARIUM 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目9-22(盛岡バスセンター3階) ☎019-681-1004
	12:28 12:30 12:37 12:58 13:02 13:04 13:12 13:21 13:23 13:25 オガール=====紫波中央駅=====盛岡駅=====盛岡駅前=====総合福祉センター入口=====ござ九・森九商店 (徒歩2分) JR 東北本線 (盛岡行) (徒歩2分) 岩手県交通・南青山町線 (盛岡バスセンター行) (徒歩2分)		
	研修②「若者政策の取組について」(大学生や若者向けプロジェクトを行う講師との意見交換会) 時間 14:00~17:00 場所 ござ九・森九商店 (岩手県盛岡市紺屋町1-31)		
	17:15 17:19 ござ九・森九商店=====ホテル (徒歩4分)		
5 / 9 (木)	7:19 7:20 7:22 7:32 7:34 7:36 8:02 10:33 10:50 10:54 11:00 ホテル=====盛岡バスセンター=====盛岡駅前=====盛岡駅=====東京=====浜松町= (徒歩1分) 岩手県交通・飯岡線 (矢巾営業所行) (徒歩2分) JR 新幹線はやぶさ8号 (東京行) JR 京浜東北・根岸線快速 (大宮行)		
	11:18 12:40 14:00 =====羽田空港第2ターミナル/羽田空港=====米子空港 東京モノレール空港快速 (羽田空港第2ターミナル行) ANA1087 便		

※ 研修③「共生社会、インパクトスタートアップについて」は、新幹線内でオンライン受講(盛岡⇒東京間)

旅費計算表

令和6年5月7日 ～ 令和6年5月9日 (2泊3日)

森田議員研修

岩手県紫波郡、岩手県盛岡市

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 数 キ ロ	目的地までの 数 キ ロ	運 賃	グリー ン	急 行 料 金		日 当	宿 泊	料
							特 別	新 幹 線	議員1, 500円	甲 14, 800円	乙 13, 300円
5/7	米 子 空 港 ～ 羽 田 空 港	ANA	776.0		60,580				随 行 1, 100円	10, 900円	9, 800円
(火)	～ 浜 松 町	モノレール	17.8								
	～ 東 京	JR	3.1		8,360						
	～ 北 上	JR	487.5					5,380			
	～ 紫 波 中 央	JR	31.1								
5/8	紫 波 中 央 ～ 盛 岡	JR	68.9								11,940
(水)											
5/9	盛 岡 ～ 東 京	JR	535.3		8,580			6,230			
(木)	～ 浜 松 町	JR	3.1								
	～ 羽 田 空 港	モノレール	17.8								
	～ 米 子 空 港	ANA	776.0		※往復価格						
計	議 員 旅 費			107,010	77,520	0	0	11,610	0	0	17,880
	随 行 旅 費			0							

出 席 議 員 森田議員

森田議員の申し出により、航空券(米子⇄羽田)、JR代(東京⇒紫波中央及び盛岡⇒浜松町)及び宿泊費のみ支給

議員旅費 107,010 × 1名 = 107,010 円

(航空券60,580円 + JR代28,550円 + 宿泊代17,880円)

計 107,010 円